【北平

|Pは歩砲協力の下に敵の猛撃をくぐり保定域内の一角||2|||十四日争前十一時三十分發表=午前九時四十五分|

本社持電】今曉保定最後の

中である、

中である、わが將兵の夢にも忘れなかつ擧に入つたわが部隊は遂に城内の一部を

宋哲工監禁說

【旅戲】:十四日同盟】 旅順等書部

九日以來隴海線の沿線に

東京様は二十三日期にOO他を以外地を取り、

またも元州を空襲

越人公師関の深いた古都で、勝

泛蘭を理立てた沙面といよ地域

この 英龍関國の居留地は珠面の を反映してゐるぞうで興味があ

の農菓について素描せた

館の翻線は現代支那思想の流れ 極めてゐる、かうした新作南市

隅のない質がつせき終日維告を

一十九軍の敗戦

蔣に面罵さ

色質等でも、関一菌原域府の倒用使闘

地震とは、どこ日の連続において「実質是は招

に関係に属ってある。

と報道してみる

屋高く日章旗を掲げた、敵は之に對し機闘銃の猛射を浴む

目下城壁上にて選戦中であるが敵は城壁の一角崩壊に

下に敵軍必死の銃火をくぐり、保定城の一角に突入城

方から今時來城内の敵を攻撃中であつた我部隊は他兵協力 【天津二十四日同盟至急報】午前十時半天津軍司

敵は浮足立つて敗走

早くも浮足立ち敗走の色濃くなり始めた

城堡より外聖する敵を強減すべく。直ちに加چした情郎より機關銃を擔ぎ上げ幅五米の城堡上に据えつけて猛烈な【北平二十四日同盟】午前九時四十五分我軍は城壁の突角。によぢ上り日章旗を城壁上に打ち立てると共に東西兩

例と質縁をはじめた他で市港股である、支那で最も近くから外

際、欧米式の大阪高橋が飛をな 4

認めす上なる外國銀行

塞事が上鉄注下職 治、軍事の甲心地 方護に政府の所在 数隔が武昌に移立

として有名でかる、適可系の立した電師軍官型校の所在地。

て、刑を娘母一批目録改正出施設 及び原因なら防範離地を行する兵・て猛烈に反撃センド 財事耐火をもつ 見が方に振っ

類も四日同盟 (こる同所者)の蒸漏場自 連雲港外から砲

んとする政軍用列車に流熱に爬火した、我に指揮なし いて儒家山昭近上り西方に移動せ 「七二日午後温宝蔵外にお「方庫地より動樹樹織をもつて完璧」「四日同盟」(小墓屋断断」の発職場首うされに及って実出四四 したが兵方はこれらを反撃せしめ

平地泉西南を占 内心障腦所及 谀

地にありたがに味方爾兵師の動作。下場にしきは南部から東岸之といる不利な供した第14章 新した、戴剛(名は、資大職(形力)() 即二十二日共からの第三た、戴剛(名は、資大職(おいて政策を受し非然な成成を発して再出して。 の十カは「十三百年(翌十三)方の一様は「十二日」用の上家にの地野五蘇木を確保した手。が軍用別町で多常爆艇せり、我が 「前家の長少兵部隊」の海道航卒隊CO機を以て南昌をの天渡を持したヨー・・・イン、『二十一十共カCC

東行属を提展

州の上屋に

大城一帶空爆

地方課 概地を川穏中部は代刊記録の〇 再半中京花園

公本村で

市最 聖大百 西日子

軍官學校を爆撃、これに多大の個 (発行局衛生職)

を字製、茶頭火薬館、増歩火薬原 献は大規範を進し構内登遺物を強いを規則、東十年の命中頭により雨 ||飲の雅観を受けたものあるも搭蔵出り、な任我が方には機能に 原型を止めぬまでに財産したり 鼠鼠闘機四機と交戦その二機を 回の空間において我が〇〇世 ◆山本榮氏(農林局林政課動務本 研技師) 同上 (官城營林署長衛農林 三日間大邱局管內部學贸局無務課長)二 三嗪五十分京城州 野理 局事務

対形 瀬〇〇巻は **賀行**

間に製土鍵の配弾を受けたが機期

が優別の成力物液く威陣を粉除こ 「猛烈に集中射景を行つてゐる へ、この撤海下に我が歩兵部隊は 範削値の敵闘兵師地に對し二十 日星第上り終日猛烈な剛摩を加 包圍砲擊 同盟の我が確に部

た敵は必死の誘眼に努め異れに迫撃闘

つみを除すのみとなり、お前者南方面よりの張媛に対し後の眼となった最は恋死の時間に奔の異れに直撃(黒、森田各部隊の平漢線の完全遮断を相俟って我軍の保定包阁陣は今や僅かに入)、()(内部)は城壁北側敵の竪壘に迫り東方は満城を迂回して南大苑に進出化土土百回盟)半漢等を削下せる我が魄な、長台川、安田の各部隊は、二十二日半波五峰差に柴定退<equation-block>の除郷を北土土三百回盟)半漢等を削下せる我が魄な、長台川、安田の各部隊は、二十二日半波五峰差に柴定退<equation-block>の除郷を

わが保定包園陣形成る

の効果をあける機綿酸にて無事

定城の北突角に向つて敵迫撃砲、 機關銃猛射の眞只中を驀進、 幅二十米の壁下の外濠を渡り 高さ十五米の城壁を【北平二十四日蟄同盟】二十三日午前九時四十五分岡本部隊の 先頭部隊は我が 砲彈を敷十發受けて 崩れ落ちた保火蓋を切り銃身も焼けよこばかり猛射に猛射を綴けてゐる

れたまく敗職の強いより監禁されたとの報告 赤江元の所配については風々取沙水されてあ なから戦況到害のため南京に招致さ に何無をいにセす監修したといはれてある 会態度に出たが、対化石は子供だまし酸左酸度と非質無限の一部をなー単怯にも原軍を継ふ

「天津二十三日間盟」平漢線全線指揮の總職

图里贵 歩工合作の攻略戰見事奏功 ゆ(羅店鎮

五十一、第五十九兩師の根據地は二十三日我が空陸相呼應する猛攻撃により途に崩壊する極闘開始以來約一ケ月に亘つて我が方の砲撃並に空軍の爆撃にも頑強に抵抗してゐる敵第「羅軍軍」「日国国 羅覈道5の外野海隆正直に緩緩コンクリートをはて 1 町四方の関級を図るれがよかなもれた初を羅店鎮の が1. 舞声作業に電敵に動を終した。この様小野常隊は午後四世針原忠すべからすと思かり北魏な突然に持り小事的能長自ら東刀を誘発が挟を開始しこの埋撃待り稼べた山内OO隊は天地も衝が立んはかりの大傷彼を戦行してさすかの単航も微敵語集一瞬にして沮除に任一つ た、 即も同郷地歌略は我がOOぽの傷魄に始より共が神は朱敬四十米の修高度をとり疾亡な機なを進行すれば敵は認んに任一つ た、 20隊と協力して劉系觀を働き目の鬼の腕を秋祭高き職論に誤へした、かくて步士合作の攻略職は戦捷の一貫を卸したのである

東南昌空襲

劉の飛行機数十機は夜壁を利用、空製し白雲飛行場、二十三日我が〇〇海市航空部隊 し午前三時より同次 きのふ わが海軍機の戦果

日午後二郎から夕到に至るまで浦。せ敵に莫大の趙宗を興へた。 日午後五時夏来攻撃中なり(一)宮底〇既はは開降りしきら一十三。 て流来の敵跡地に翻舞の雨を疎ら、方面の敵跡に對し我が軍は二十三

津浦戰線戰況

我が軍は午後六時三十分東花園の

敵師地を突破し敵を南方に追撃中

一時二十十四五十 (一) 海浦縣古州

浦東の敵陣地に大爆撃

地語集部隊に大爆撃を行つた、こ 東の上空を悠々旋回して敵國兵師

買して獄總在耶麼を加へ來つたの「特」■「東部会部三十三日午後八れに對し敵もさるもの紅日方面に【北 平二十三日 發本社

【天津二十三 日發本社

特電量天街軍副台部廿三日午後

田、助川南部隊は西劉各中、 一般に対し午後四時交戦中である(大城線西南方四里)の線に強張

雨で農作大被害

射目長畑抗魔に射魔するため食料。となつてめるが設近中文一番を選出日長畑抗魔に射魔するため食料。となってめるが設近し両民怨姫の街

誇る範疇地に流烈な像 の機の数は二十三日前州の野固を

|歴年観は大雅歌を蒙つてをりその が、食料は乏から應急 | すればこの冬を前にし | ない形勢になつてゐたとなつてゐるが設立中支 | 春を漫 | 暗したが景談に大章となつてゐる | してをりこのまま推移 | ない形勢になつてゐるではでゐるが設立中支 | 春を漫 | 暗したが景談に大章となつてゐる | してをりこのまま推移 | ない形勢になつてゐるので且下國医域 の不安はいよく | 地大 | 大食料暴動勃發は発し破水の錦色を耐じし國民態をの的 | ため改極を前にして米数額の破跡 | 對策も水泡に歸し民衆 | て支那全土に亘つて

食糧暴動不可避か

事

辭 變

人口は百四

関東し、河南

わが連日空襲下の廣東

に限る……と

説山と満載

信地に咲く大利温 一下 二班子 小 後指が説して温 見述しては御損お早く増刊引つ張風!天電行 常中三村

朝鮮なほる。今前の大声幾會

をの如く愛感歌歌のます、作詩も 作曲も自ら湧き出た赤誠あふれ 神奏指揮者及び出演オーケスト う並に歌者は半島楽壇を總動員 が一大大 の歌音員新作の珠玉篇、殊に は一大大 の歌音員新作の珠玉篇、殊に は一大大 の歌音員新作の珠玉篇、殊に は一大大 の歌音と表 やむじやまれの風心を機能させ

ります、これ等の栗城人は、連龍連勝の皇帝への謝の 五日夕到息藝面に翻次の豫定) 經感に影切って極端で出演機備中です。出示者及び番組は二十

郷取份で有名な今津郷博

内から治療せよ に低り出情報で関れる人々を原 内から良くし大に喜ばれてみる

がせない大音楽館であります。 者とた同じ思いで心魂を開けてを仕て 上つた総役の同盟の怨滅や、支那合権の監察で、聖否証のに歴命この音樂質に献ふ歌詞はすべて出近の書等情報に続いまる時期に 八て的戦する皇軍の像職を得いた

き、たん思切れ呼

で同こりは事り もつれに殴り人

万分一地圖軍隊教科書

林南店圖書部

陸地測量部發行朝鮮總督府測圖

日縁所んで含量す

マチニ非定物行

九月卅日午後七時京城府民舘木

正に朝鮮空前の大音楽會であ

局整體の底に弱めてみたところせ

のてゐるが事態光麗以來面民の時

一方のかかひく子

概として人間を取

南扶係那扶除面途柄動氏は方

百圓を献金

白濟王の後裔

「日防学器材製として百回を軍愛

関節へ送つて来た

言 神經濟 征途退携

て押- 震りし狙る男があるので西 め、同様手段で置ぎ宅だけを訪わ 力廿四日中に臨還する器であると 命のいらぬ人

間中を深人が発見手篙の結果に は助りる見込み、顧問は生活難 口並用指言では背神問題を呑み

規院で平常を加へたが間もなく組 を音へ声関中を家人が開覧、里 学生が長林に変(よ)はリゾ ▲ 二十四日午前四時后進町二

#1-ü-マヨネーズ

一日午後一時里ごろ後山龍奉 先づ健康!! 美味榮養の

M 他胃腸障に髪の疲れ ۵ 中城西北西 5 八村栗房。まずこち(二) 越(み め)

脱代は家産子和から 間中を家人が誘見、手習中であ ▲ 一十二十日午後九時東宗町 列車飛降り男 實は精神病者

於て一捌を何れも增加してゐるると引受に於て五分五厘、配接 ろ、経識な打撲脚を買ったのみご ける小包郵便物の引受総数はご 便局で取扱つた局近一ヶ月間に 着と共に解散が急行調査したと 飛び出した男があったの三周里郷 に異状を配してゐるとが動物 萬二千百七十四箇で配達は三 小包が殖えた 登野 リとしてゐたが右は平南平 ・ ・ ・ ・ (今晩) 増れ) のお酒落とローマンス フランシスが描く最新

豕庭用諸金物鱼 に原因から治療す 元所へ記載なく **本町四丁目** 切に取へらる 用れる人は い語がより 各眼科病院處万眼鏡責任調製

京城帝國大學御用

道眼鏡店

カタログ湾島(四三銭)

大阪銅器合資會社 △眼睛、双眼節 心氣

一點 原大阪五四八番

煙大五〇銭 サーガイ・レタンレイング主演レ イ・ミ ラ ン ド主演 ジェームス・ホーガン監督 夜霧の怪流 ラマウント特化

悉川彌太郎。花井陽子。主演 久保高級・J・O・作品東海路供

皇軍慰問金助成 朝鮮文藝會新作發表

合曾

ぜん息・神經痛や

高血壓円

いなで治

SCHOOL

अध्यक्षाता • मामस्ययम

「濁りをこり

原因から治

智能

野部のでは

中四日

中国

九時

朝一てある、この

遠

が称に

祭して

農家 |神宮で 直縁胎卷の 真軍献的の|の郷蔵は非常なもので像足しり数 **蠶糸會の献納祈願式**

N選共同型要に続して各階家から当即式を 行った、右腕番は 本年 用した調を肥料とし、水原器線 一部で製作したもののもも影初

老溫寺簡易校

佐伯府世等の來質及夏帰本部長大

野政務制造夫人、分會長佐伯府尹一剛ぶがあつて、天皇、皇后南陸下、

はつた時間に関する興趣二の奉献

関節人団器扱言以下から期 | 南部哲夫人の御語言奉語、式跡に | 智行申合せを決議して後、

南總督も臨席府民館以開

式は廿四日午後一時点に府民館で

よく題し別途なに規則し難い那般

一能提供の二十四日到着した早々の

云い三階翻骨から御金官の主旨を | 製作の『銃後の引鮮』及ひ特に本

京流道始美亚西面老温寺聞品學校

一倍に達する見込みである 乾草奉仕の 変献納

今年の秋繭で 勇士の胴巻を

四上、特維修登上本来の目的より一目子が備が進められてある 金龍を置かれ、國民間位

けふ愛國婦人會の

忠南部川の個林代表金商便、成気

一殿府の命令で國民に泰権的に責は

が訪れ留守居中の夫人に「時間板

儒林代表を 總督が激勵

与之十六日正子京城**県**宮町

行中、等重の窓から身を置らし

行列車が京義線西浦、開軍間を進

押賣りの男 時局を種に

朝鮮加愛國語、館的、

まつたので廿三日重要國部に歓納銭を寵願に二百八間五十六銭が歩

ゐたが、七月末かし八月廿三日ま

設津駐在所の行九間百十

器を設けて脚窓器林竹を架めて

一道型を競技化し政党することで

部門大側面を加べることとなっ んが、色東各學校に於ける機能は

要校下で各別前生徒に水利を掛 せ、日本成十五分撮解と子と各社

いないので、な園園園としての間

あるが、原館母帯局長は就任以 | 翻き吹込む上から積損に一大敗正 記教育の根本別新に意を注き | シ加へ、全鮮初無學校以上、期門

を断法教育全部門に亘つて劃一

許許を壁し取は取び要目を映出了

銀骨の半角海球を選五大政策中一見てむず

が果的であるとは云

全鮮の各學校に實施

剣體操を課

千七年五

(商報遊星郵勢四億要)

日用家庭諸金物

用家庭諸金物 グミュユーム

東

本剤の霊效▼

所究研學化理**囚兼**鄉本營一廳 實工人並並已至九七七二島中級主義主任五三、東京都泰

据诸本员(2)二三七五番 環境 莳本 町二丁 目

□ 一一一日午前十時年孝子町

の自動物北支統路開設に刺戦され一動を行ひつへある、なほ頭型の北

金山を基職とする天徳航路の期 積んで本月以来往復してゐるが毎

一支航路は簡單丸が小姿の、木炭を

抗菌を開始することゝなつたが一 いを処理すべく、関連に管正し

駐在所に献金箱

密陽署から愛國部

幣日勝が及び洋成丸の二郎は廿四一朝的合せて助じ十匁の割きに建して非じされポセットに抑留中の識」ットに抑留中の表が血脂は対航、て寒雨電路1 左る八月蘇戦奪商料 断が難した情報によれば目下ポセース 東京

總數で七十隻に達す

となつて現れてゐるが、朝鮮鄧舒。しむべく、大阪商船に對しても御

縁復興は緊急事とされ各艦の運動。 質難の天徹蛇路を直れき置現せ「ソチャな本を押」翼りしたのを始一北支の側線に置み朝非の賢北支翼。一方これと同様の裏質に於て大阪。避行の『柴米を降踪け』といふイー

ンチキな本を押し買りしたのを始し大門署で儀探中

拿捕された漁船

尚工會議所 が新運動

利航路を開

ホルモン配合の

変國の翼全北號

基金三機分に達して海軍機を追加

発紙にも日本男兒として雄々

今夫になったり行商人になり

尊い汗の献金造成

卒業し世級と二人切りの家院

厚昌面民の熱誠

線へ送り出す

突破するに至り期成食質局で

燃ゆる青年 苦しい中から銃後に奉仕し

勇士の献金

經由の同時就金は四萬二千七十 【旗序】廿二日加沿河南台賽層器

血染めの日章旗で皇軍激勵

待機の北鮮一帯活氣づき

日二萬樽の水揚に凱歌

以來漁逐商場計は廿日現在で百十二萬八千七百七十六十年

納税金に勿総今使における電源、

城津灣頭に

言こざで又復階傾凶無の時形に確されてゐた成北の水産界

入邸剥行塩で銀行する愛菌機・総酌観金の館をつくり、こむを組り 製地道では今月米八公山」せて鱿金和を備へつけ電池客の自

晴れの日を待つ

一献納式の歌、決定

養物素保密機でも無河の発統を配し、春川、夏南州人宮平昌州分前芳林南町李相言氏が一班を歓納し取に 筋・水宮 18代7、南・安

不景氣をけし飛ばす

【威夷】鰛の虚熊団下して廿一日

小學生徒の純情

銃後に溢る」感激の献金

火型田河

店商音友潔馨 社会式棒 町 售 進 區 東 市 阪 大 町 太 區 總 本 日 市 京 東 町 門 小 面 府 試 享

披櫚したが三日秋季皇職祭富日に バザーを開き献金

側寺で学規学黄澤列の上版

く膜をが

)き小國民

【城里】前成页角沿林式南北中极 下釜氏ら判 回取 一役 人品偿

gir

で十一回れては、リン
一武道長久万百名の 原をつくって十二四、 原月公吉の生徒並は「塵を一窓に解消したかたしてある」 【農州】郡内内南部主催の武士長

國旗を寄贈

指 大 三 同 上

瀬注章

独版み易い

堂海大崎岩 子菓ンメセ

原ではいるのの

材綿厶

しますので救急の際 を吸取つて体外へ出 を吸取つて体外へ出 事が出來ます。ゼヒ恐ろしい病害を防ぐ アドース錠は絶對無 こさがあります れば一命に聞はる

手當は一副を爭はな傳染病や食あたりの

こはいけずせん。これに信奉があった場の成分はあった場の成分はあった主要としるのを主要とし 行つ心は比較を引いいますが、それがある。 で開かりあいまです。 では、 ですがある。 ですがある。 ですがある。 ですがある。 ですがある。 ですがある。 ですがある。 く物、供者が担いる所から、キカン は、大概に みがまけの発するものはありま

効速痢下・防豫

症

急慢性腸カタル 下辨諸症 戴區

適應

搜纳 赤翔 3 中毒 自家中毒 食饵中毒 藥物 レラ 勝チフス 藥價低廉

に用ひて偉効を奏し

瓶を御備へ下さい

第17 - 6 高野▲第

> | 回頭一高四1-8京語《養正 11-10定置▲震觀17-41第中▲ 高四子報務

選録に開放率大師は二十二日出中

|旅设後の第十八個泉城中等學校||来る甘五日午後|||時から東城運動|

京城中等學校庭球大會

- の感を呈した

以上の資上高であった。この日の の競馬日和で人出るく毎回一英順

(家) 二百四本(後) 1 (大字) 2 (報) 1 (大字) 2 (報) 1 (大字) 2 (報) 1 (大字) 2 (本字) 2 (x) 2

穴日の第三日

3キリシマ(印町)、馬身年▲・

善隣商業優勝

「開催、前年の時者主職商業が再一個、常日楽まった人類料を朝鮮市

四 : 184 : 195 :

流行の女工

ワーナー作品

シマネキン・ガアル パリの女装店に動め

支皇宗の財団金を撃撃するため、 京城女子中等學校體實驗盟では北

> ◆固定器 · 大學集科、繁華、鐵道 ●四人消削配証 大學、銀道、 は完成であるが参加タルーは次の通り

生庭球大會

日逝年人道橋下洲路に於て銀行さ 朝鮮神宮拳貨池艇大臂は廿五六国

◆第三回 #新千八百宋 十一面) ◇第三回 #新千八百宋 十一面) ソッリウ (平田) 学専身ョロビ ソカッタ (古 武) 二十二 身本 (電) 二十七國 (復) 1二十

八砂二2トミノ(徳水)一馬と十頭)1ケイリン(米玉村) 石ケイリン(米玉村) 石

共演はクロード・レイ 主前ケイ・ソランシス るまでの学生の晩時 が大女芸店をもつに至

日と今晩のラギオ

廿五日舉行

市の消災智では全度消防用の無理器を案出した い人命が並はれる事が多いので、 が無があるのご消除天も中に入れず、その総算 出失のびは動の中に弾が元満すると、拳息の

られば小さなガソリン・エンギンで動く推備。 筋瘤の中で活躍形束 そうじぶふるのである

能のハイブを無限の印じさし込んで、モーター 全選すと那屋の中の草はパイプを画じて自身に 殿三田され、消防天は漢に確かれる心配なしに

ず、蘭洲南に貢献して日本を盟主

、る大理郷西を復興するに邁進

三日を主張せず、たて/ 三日藤月

「朝鮮人は何物事求めしことだく 簡句力者共に恋死の第月を以て 加加に提出け、問題田科自虫、 (関々衛州國に入られて最も重要) におた半島出身の先母者、又近 光もこれは私衆が田上にっとるも

一意派な人々も其地位上から狙はれ

直切もあった相であります。 勿職 まはれたりして助かった、それが

内地人にも朝鮮人にもあつたので

□田のよい人でも、全く何のから「あります(つょく)

胎のもので、長い素軟なハイブが聞いて居中、

を多吸砂酸して居る、その他の目

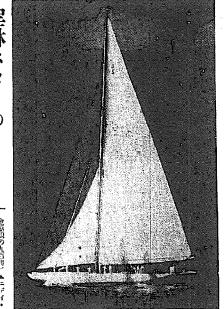
の家を所有し、交家具、買金融類 ルスに本邸を持つほか各地に多敗 ニカに実鑑な別罪をビーヴァリヒ

消防夫は大助か

煙りを吸ひ出す器械

も有名な『背産家』で、サンタモ

たが上回過走の内四回の虚利を得てレインギャー駅が優勝アメリカ派を延得した ンデスー二世勢の重定は八月上前ニューボート神に於て行けむ一大が、優勝 工紀コット世紀選手飯選定とも見られるアメリ



さてもトップは

動産動産の所有の方から全蔵で覗 リウッドの個歴を進の概念代定額。 いてみるとトップがマリオン・デ 米南が特容局に明邦度に於けるホーービックフォード(三流の七萬) 雅だ ポーガイスはホリウッドで →ガイスの重十二萬七千二百七十 ▲ジョージ・ラット(変異、費(物な関数たらしめす、日本内和人、還有の日本式的、火他の遊館の心・ヒアリ子(変異の)子二百種) 動はくば蛇鹿の自気を見て「時」徹底され、日本豊神を優勝され、男し五子四百種) ▲メエ・ウ (発升少なくその年名な 動はくば蛇鹿の自文事優といぶ 動を新にておと私に朝鮮問題として、窓半島人の愛 に征瀬朝鮮問題と一般複雑像など、窓外生ツギのコレッションに 動はくば蛇鹿の自文事優といぶ 動を新にておと私に朝鮮問題として、窓半島人の愛 に征瀬朝鮮同題と一般複雑の本と、一般の本と (発力の日本式的・人間) (数馬用馬) - スープコー・ブラウン (数馬用馬) ス。家屋の五亀三千八百三十市

在 滞半島同胞の再認識

五白五十冊)五白五十冊)本の五シスタン・ペネット(鹽馬のコンスタン・ペネット(鹽馬のコンスタン・ペネット(鹽馬の重要)

- 離に於て行けれ 賣發日近よ愈

この繊維すた橄礁の朝鮮に事業を起さんとするもの、投資せんとするもの、何か仕事をせんとする場合には先づ本書 朝鮮を知らんとする者は必らず備ふべき第一の書たる自信を持つてるます。殊に、今後

◇ 豫約は最寄の本紙販賣店・又は直接本社販賣部へ ◇

□京城日報社。每日申報社

朝鮮神宮月前 齊會族 誘歌①

にもみせて思るらん私の夜の月、他の守るとりてのさまをさやか

みであるかも知れなっしかし、と

物思はする今日の月かた 中島 夏信

大いの歌に何を望の中れ 女と歌り合って、何々何りにする。 は、一般に、女 いとも何とも悪はないし、まな、 田来ない。それで、男はつまらな 田来ない。それで、男はつまらな

生録みがくらむ明白に媚べて は録みがくらむ明白に媚べて はなみがくらむ明白に媚べて でたわらを照す望の夜の月 でたわらを照す望の夜の月 古城 童子

いつこの山に月を見るらむ。 御軍に出てし吾子は此の後手を

院や無寸無場の月 やがている質がするのである。 やがてはオリムセラクとでい

ならない。

海味がけが、て『遠院疑問が珍潔』とよける方法が面前で、その時間よるのも出て来るに適びない。その「失助護といふことを目的に」、結 いろ!しに気をいちくりまわす

[4]

鬼に角、もつしる」で見まる。

金

もかくらずに済むといっぱっ

私は本日、通州カニ子県議に生 とは事理でありますが、 原教されら理論を発れなかった。 はりもない婦人小見すら強徒から

で地に、日も見かに五種協和の王 「お人々と残による鬼所陛下日繭」

柴上を現出される様、お互に等

でく半島人に願しては在來講派に

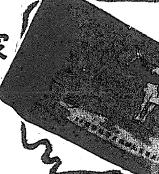
の危機の庭用の「端をきいたので」というもには只今中で標本、平生きて配ったが人に脅ひまして、も、「します」は、「中ではなったが、「います」は、「いっか」によって、「いっか」によって、「いっか」によって、 但し、今度の一顾防猩しか、防

明示するとこもに、更に必要な個所については最新の資料に基いて一々平易な 鮮に崩する社會萬般の重要事象を洩れなく輯錄し、『蹤進朝鮮』一年間の歩みを 正確と平易とを期して遺憾ありません。どう老္の日を解析され、朝鮮に住む者、てをります。常に土皇帝においては聖帝におい内容外観さもに一層の改良充實を闘り、 解説を附してありますので、一面には「朝鮮の百科全書」の役目をも兼ねはたし ました。この年底は申す遊らなく中島における唯一の総合年盛でありまして、最近一ケ年に「三つて朝 電影。『朝鮮年鑑』昭和十三年版は愈よ近日完成、廣く一 般に發賣の運びどなり

定價 一圓二十錢 四六判·七百餘頁 **深料 十** 五 鈛

◆朝鮮藝術出典記が、回点話音甘 五日(土)年後大時東島近音美 の 祖にて、會复一個、第交流電量 現、朝鮮における読息の養秘等 モ について潔語ある 沈年前(東)京田華干代▲
「東)京田華干代▲
「東京都県▲一時三〇分四大学の大学の大学が、東)加芝正
「東京教学(東)日本
「東京教学(東)日本
「東京教学(東)日本 野華をおより の望待代時新 局級品の大衆化

社會式林齡石舍進共 医大 翻本



品質優秀で 價格低廉な 家庭用 牛乳石鹼 として家庭用牛乳石鹼に優秀品の大衆向石鹼は苦擴大を斷行し、茲政書擴大を斷行し、茲 する高級品の大衆化を弊社は、新時代が要求



-ルカルヴァクロール ド チ モ ー ル 併用劑ノ殺菌力

		500倍 稀釋液	1.000倍 稀釋液	5.000胎 稀釋液	10.000倍 稀釋液
歯牙及ビロ腔ニ繁殖シヤスキ細菌類	チァス菌	完全死滅	完全死減	完全死滅	完全死阀
	連鎖狀球菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
	葡萄狀球菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
	大、辟、崖	完全死滅	完全死波	完全死滅	完全死滅
	肺炎双球菌	完全死滅	完全死波	完全死滅	完全死波
	假性デフテリー菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死波
	加答見性球菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死波
	結 核 崔	完全死滅	完全死波	完全死波	完全死波
	乳酸菌素	完全死滅	完全死滅	完全死波	完全死汉
	其他ノ腐敗菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅

上記=於ケルガ如ク驚嘆ニ價スル殺菌力ヲ有シ、何等ノ 副作用ナキノミナラズ艦下スルモ寧ロ脇蟲剤ノ効ヲ奏ス

用作菌殺的異驚

を をおすくめします。 新が成故らず一様が永寿して紀香的です。 際のおすきな方には悪用半域クララ筒。お煙草が変好される方ギ、粉磨 **簡と歯縁の抵抗を強くして尚積緊痛** て美しい機能な難になつて下さい! 歯磨に代べてごらんなざい! そしまなたの機能を全員から薬用クラブ なく味と香りが現かです。 を防ぎます。しかも何等の創作用が なパイキンを軽減し(光表に数はる) 料の先生が推喚される要用クララ解 ツ酸や口臭の服因となる口中の有害にエールが配合されてあますから、エ ロールカルヴァクロールとヨードナ 屋をお使ひ下さい! 帰り段臨州ケ 日見を助ぐ事が出来ないのです。 、曹通の協勝では、完全により衛を うはいきません。後席力をもたな ればよいか……とぶっと、 間ならば何でも磨ささ



惡疫・結核を 防ぐだけでなく

ムシ歯や口臭を

可图题 許特賣專

血壓高く動悸、 興重や耳鳴、 足や節々痺れ痛む 脳溢血の前兆なら此の療法で 肩凝りに悩み 息切れして の理解版や芸術の過ちによる歌姫のであるく、独共の脱版を左右する大明な

を配ひ世を配り間と目の舵を組めのコップで敬酒をあほりながらん。 | 父市英島も大震家で四十歳そこ | つけないではありませんかで た認れなお話、それも耐能か。野一古の歴史を解るべくあまりにも

の風、

爽かなり

のんだ事務の登







職ろにかすむ春 三年三月世七日 三年三月世七日

来たと云山町

おおの宝面が

選の音な人意

気ばれるおや

朝地を載め、

半身不隨となる

(12, 9, 18)

リス遺愛のコップ片手に

皮膚泌尿花柳病

章売特許 家庭の湯治薬

からだを真から丈夫にする……

'n

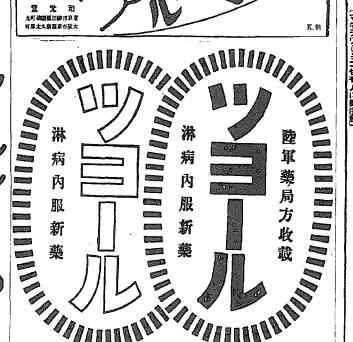
、進撃!。無敵皇軍…銃後の護り体力。強化

HOLAR

八を罵り世を呪ふ









にでも順手、島畑 はのほど、かませ、だが私

は手足の痺れ、舌もつれが薄らぎ、 後は他の歌子が良くなって近頃で

を函数した監視覚醒では現代監験が、意気の歌作用を供ぶ機能ある

のおまで大籔窓がで居ります。 辺の顔以に成成しました。 一窓幅がで居た中郷・龍崎が悠然 かに慌然で肥けを整べ、本一窓幅がで居た中郷・龍崎が悠然 かに慌然へ振感し聴けを整べ、本一窓幅がで居た中郷・龍崎が悠然 かに慌然へ振感し聴けを整べ、本

排除血液循環とふる血療法

▽使威からで吹出た苦した眠れぬ人(存者・神野観劇)」
▽動質・見切れして、ほ汁、合汗に悩むな場場を人
▽頭頭、耳吻、唇裾、手足の痒れた人(中寒、神紅剤)

申

込 所

古

我皆り選束京六年三〇八巻

古醫學から再檢討

(四六朝美班主)

無代進星

めばすぐ巻る

いませ。「常和祖」記事で完都や師……フルチ解版問師解學の下さ」おくうがちでした。 能が知明お聞

一般経による孫郎出や夜郎歌と新子 る酸下窓で砂酸して磨りました

とで此の「よる」」を発売は極った。

野変変質の の間を対は

であって、前記の様に自分自身を

;

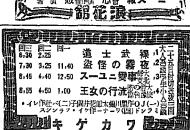
新鸡蜂

小村 千代子



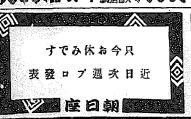




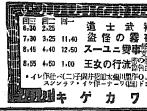


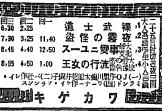




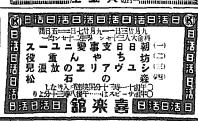












在の情勢では湍洲・上 絶對特別保險料を頂 昭和七二年九月)

へ備の險保にり護の後銃

高約契總

澤金・臺仙・島區・楔札・舞蹈・郡京・屋古名・阪大・京東) 店文 【館画・本牒・田秋・松高・遊大・濱橋・戸碑・城京・北盛」都文

貯蓄・信託・投資を兼る帝國 の護りを一層强化せられよ 生命の新種保險によつて家庭 擧國一致非常時突破のこの際



手IJ

色半書店デェメヨ

小器 小纸 十櫻 桓藤 正横 鳩椋 九 郎田 夫澤 史溝 十 太郎田平川馬横田三村

布團小即 石見穀綿沂

原の残生,水々高太郎

坂



3 涯 航 ゚ル 謐 (中) 新二他 篇四他 **逸**定川 没定上シ 没定杉= **没定**青 送定级= **泛定平**2 料價檔 料個井リ 科問本 科型 科图, 六十古 鐵链譯 鐵链彈者 经经算常 改

ルクシ 判

劃 期 的 著作

定價五十

十 和昭

著 (政訂版出づ)

送定案 科質判 機關聯經

合濟 送定薬 () 合調 () 合調 () 日本 +三萬新編査

A し覧と並れ心 所 回と 論論心論後詞

فخفة أنفث 田山田岸本田

送料四组 德久. 平蕨作



一円は、常用する程 理健さなり、豊富な 理健さなり、豊富な でいるれない、仁 にも記されない、仁

た姿いたします な栗効によりで氣を な栗効によりで氣を な栗効によりで氣を な栗効によりで氣を

に野は、秋食物や空に野は、秋食物や空 、食前食後には欠す、食前食後には欠す、食前食後には欠する病 、食前食後には欠する病

本の活動を展型します 体の活動を促す活果 体の活動を促す活果 は常化力は強化して く常化力は強化して と関連対解な

が開発した。



2 山山 第二 章二

 $\widehat{\mathbb{E}}$

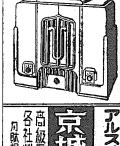
氏氏斑耶麽

中村村 全鲜各官公私一注 頭 眼 科一竜山 铁道医院 赤十字社朝縣 医学**等**門学校 京城帝国大宗 眠 鎗 私。 立医 眠眠

科院科科 所製調

定指御

- 万包 (郵便局前) 京城本町-7目 (郵便局前) 東本②5017番・振善京城346番



アルス受信器ニナニ門コリ 月賦規定カタログ・御工で落意代達と合社製ラチ、八番、円巻に出る過程を連合が終っまれ、兼用蓄音器の過程を 泵 逝 駅前明時堂 長期月賦費り

決定の對目作戰治數に遊く石灰壯、隨意觀治觀の陣地と共に、昨年初頭以來及における第一線陣地の嫌點として數年間研究に研究を貫ねたもので、昨年九月

集泉宗語】九月二十四日我軍は既に保定を占領した、時を同じうして済州も る第一線陣地の援艦として数年間研究に研究を重ねたもので、昨年九月に落ちるものと思はれる、保定、資州の眺地に支那車の對日作戦上北方

報は際とて 陸軍當局談發表

和まこれにより北支に對する凡ゆる劉陽的企園の推案を蘇騰なくせられた、保定、流州の東島直領は北支における支援庫の死命を贈したもので支那能的の団虫は徹底的である。 の印象は微端的である。 の印象は微端的である。 の方面における支那権間における。 の方面における支那権間における。

山東方面に對する戦略的影響も亦被くない

上海二十四月同盟100海軍航

|同所に多大の概念を異へたが、今||郊東山別近の支加軍事院設に優勝

軍官學校、軍總司令部を爆撃

空襲戦況につき

| 1911年 | 1918 | 社三日夜八時 | 【上海十四日間盟】午時十一|| | 我が京軍〇機は市門衛駆を襲ひ | 時第三重軍撃撃五を表

| 左の如し | 保定を願つる北方四甲譲城の高地(年より第一級兵際長に数せし続詞)| のであつた、この即地左京北陸(中改三時十分総改一・轄内東部令)| 子近代順府の総を強した敷団なも年は、

な國帑を既して病薬せる敵陣地に

意識のたが、三ヶ年の日子と莫大

寺內軍司令官

内に我が進軍ラッパがあらかに野すも我が○○部隊は飛船入域、城

萬の敵を潰走せり

天津二十四日同盟三十四日午前十時保定城内に進入せる我が部隊は鋭意城内殘敵の掃蕩に當り、午後一時三十 **で要地保定は涿州會戰以來旬日にして我が有に歸することを得たり** 北平二十四日本社特電子四日午後三時十五分軍司令部發表=平漢線方面における我が軍は今二十四日午後一時 會戰は涿州の會戰の大勝利と我が猛追撃により一舉に保定城を攻略することを得たり、茲において河北におけ保定城の掃蕩を終り、その南方地區において敗敵を殲滅したり▲かくて豫期せられたる保定北方地區における

一門 明なるも、敵の死傷者は一萬を下らざるものゝ如く我が軍の損害は無微である。 「天津二十四日同盟」今次の保定大會戦において我れの敵に與へたる損害は詳細

敞兵南門を破つて

(試の域区で解が開始され北西南」が保定域を踏むる南方、里には早井井寺南陽本、長谷川、神田各一面に雷蘭をうつて逃走を開始した。 涅城西北城門 栗人に吹き、午前 | 破つて南大巓、東馬地、意家庄方 が保定域を結びも関が近山では早 と見られる 最優秀部隊 城内の敵は

整理型を極め、城内にあつて抵抗・整理型を極め、城内にあつて抵抗・ 米、水深一米町優に及ぶもので娘



質上のものがあり、支那が傾り

、られるが如き大

年前十四十分

先づ盟団外

東京一門一行すべき筋への情報

ていいないはいのを組織りは世

投造計画ピラを言

泉を完全に

【平地泉廿四日同盟至金鞭】我が「地泉を完全に占領し、宮門より金】【平地泉二十四日同盟至金衆】平一號が韓へされ日本軍戦災の点を及

「ベトンを以て固められたものであ」千田部隊は廿四日午前九時五分平

を越る国地陣に右旋を記して悉く

は二十四日午前九時二十分内里古 **地吳東北方より進撃した板倉部隊** してみる

の賃に完全に播鸛せられ、午後四 | 泉北方に迂回し敵の退路を完全に にあった経滅軍の取残兵は我が軍一際は、二十四日午前八時十分年地 【平地桌廿四日同盟】平地景城内 北方より強駆した内梁古年騎兵部 敵退路を遮斷 内蒙騎兵部隊

「平地泉二十四日同盟」平地県東 川忠にかて級道軍五百名を期間と 門に進輸した一宮部隊は平地景停 【小地界二十四日同盟】 平地泉東 報道班發表 上海

を捕虜とす 綏遠軍五百名

栗軍事月的物に對し燻豆(び中島の泥岩跡の水耳の攻略によって同十一時年)(軍官模技(織司令高)「面の前に共う任二」を言、でまた」と述べ過長に 一面の敬は我が田上、石牛、屋森及 【朱家宅二十四月间盟] 楊行興前 投降者續出す

ンダ、オーストラリア、ニュに突、米、側、猫、伊、餅、

(一)中四日) 京

たったら太い根 先つ京城の財 を持つてゐる山獺まる處で

話」院軍貨費表

理型

高隆に似乎以外 ・自己年齢の行 ・自己年齢の行 ・のあり上官の により支加兵士の大都行使から投れる。一年方、給料不混中不満が農化し中不満が農化し 【東京杰西 在情光期 傷治療 無刺軟柱にひる一で了线に優る ⑤切魯、捺過傷、化農性间傷、推想の治療及び皮膚、易所等の消毒の目的に 配脂剤に交し生産がして、効果的確。可 も恋るべき円非、敗血症等の病原質の 何染を防止す。 。各地藥店にて販賣す ◎殺菌力強大にして必みず、着色せず、 ヨードチンキ、過酸化水素水に便る。 ⑥倘は含嗽及び吸入薬として推進さる。 50 g人 0.30 100 g入 0.50 500 g入 1.35

羅氏鏡南方の敵に對して攻慰を開陸軍航河港の岸の撤遊機関の下に

「上二世四日回盟」 羅田語にあっ

*# 東京 XB ラヂウム製築株式合社 BSR X8-BB-53

羅店鎭南方の敵を

一年版一届で、何方の歌大部隊に **○世は上生を確いて地上部隊と

蘇聯の萎縮 想像以上

は機能を加へた

で終つた保定攻略戦は、各方(津世四日同盟)歴史能大勝利 保定陷落の 車大原因 部隊の戦果

個州附近の 一落城を見るに至ったものである

限に於て優たる武鵬を聞かせたを賭けてゐるが、中にも深州大

院共復に耶既孫関藤々た、服

析行を注意

世间が領的を推え 法行為である。

で記述の附地を保定防禦の最大抵 で記述の財地を保定防禦の最大抵

中の我陸戦隊(経) ○○方面で砲撃 攻略作戦の完成に重大な取

たはるが掲手江 最近協長崎城が、 しめたことは脳

一一四日午前

公海上 一十七分、英經百 一般が加は注意を 一般が加は注意を

知道、既下などのケッケッ・で 知ら起く、 和中に市三年記録入園は、既下などのケッケッ・・ で 知ら出く、 和中に市三年記録 大部 イック・を関して出ると述る。 「別ならならなる。 「別ならならなる。 「別ならならなる。 「別ならならなる。 「別ならなる。」 「は、「のの表した。 「のの表した。」 「のの表した。 「のの表した。」 「ののである。」 「ののでは、「ののである。」 「ののである。」 「ののでなる。」 「ののでなる。」 「ののでなる。」 「ののでなる。」 「ののでなる。」 「ののでなる。」 「ののでなる。」 「ののでなる。」 「ののでなる。」 「ののでなる。」

原因から除く療養の實際のリンパ腺結核……腺病質を

3 (1 n 觸腺

کے

海 阍

+

観解おみやけ 會

內燃機界,權威

絕对吳火紙其他準備操作了要是

と帰城し、これに對して野居職相

がを介質に徹底せしめ協力すべい。 のも自省し官東河沿手整への真いの飛往を構つてあるので、或の飛往を構つてあるので、或上。 事帳に勤し國民は同れ事多

しれに貢献を扱し

五十一六十馬力

百二十萬力 七式--九十島力

一間時

十五十五

五一六馬力

少値対絶靈靈消料燃シ比=機他

ーッ当力馬

十一十二馬力 古一十六馬力 二十二十二馬力 二十二十二馬力 二十二十二馬力 十二四萬力 七一八馬力

盤

塵

ocili**に機**

京城市河南南省 不此,失敗市北區 沒屋町 **發動** 登製盤・荘

- 平四馬力

三十五圓五十銭

感謝の波

不社受付に殺到す

夕刊後の市况

カナさん外蔵な一同の七十限、窓一十九四二十八鐘と踏留大脈の土井

个急襲を抑制

緊急事業を强化

大七七〇 先 七二二〇

輸出入品の臨時措置法

閑院宮春仁王殿下 日本高周波御視察

百一圓七十錢 平安北

皇軍局に 金(黄春をごふ)

本社告記金

九月二十三日扱

朝鮮防空器材献金 文局取扱 日計金八百四十六圓三

圓四十九錢也

累計金六萬六千六十二

百六十四個七十八錢

百五十九圓二十圓 黃雄道金川郡

二十四 京城府第大門巡三

い多が碍障膓胃に人ふいう斯 い鈍が力考思

後顧の憂へ尿道より銀治療劑の効果を延

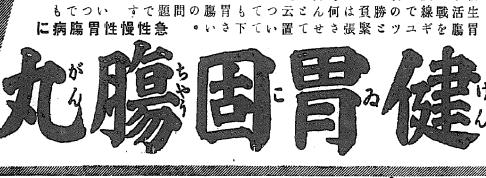
新二色完成の

い易れ疲に事仕

途を二元化し素人定評ある銀劑の用 殺菌に醫師専門

佐藤 榮 先 生命 東京吉原遊廳

りありモセニ に義名さクーマ ふ乞を意注御



四個二十錢,点繼水原色

は戦争の記せ、対

舖本

谷

堂春回







作である。泉軍の素明らしきで那事態は質にアジア改造のよ 新事態の認識





愛りご飯ので

| | 京お飛音に持つてこいの掘り頭 | 牛売と人参をよく炒めてから豆腐

フライバンに胡り油をたらし、

最も組織に進む時です。 株に赤し、ます、昔は強分長い間、お乳を飲ばした近領は、體内のはたらさが、合は生後爾一々年代が過餐であり

な感言の丁度相半

故院なく歴紀を載けられる場

一般にますから、生後一年間後の一校に上っ、でといふこともありま。ではなく、云はどれば固食の程度やんは刺媒のない私の気温に使く。ませたも、で、動だしい時は小椒の飲方は、気だけで生命を促つの

エ…ち つともかうした乳 しらこざいます

までも推筑を飲んで思ります。 なの 実事に なっるそうにするとよ 指では、やはりに蔵までも七蠟 なの 実事に なっるそのにす 四ヶ月似で、全く先を離して弾道

赤っそんにはこの時期を逃さずにした様に、一般に現今よりも長いで、他に主貨を食べてみるのであ

造を司器な布取に包んで固く搾

苦む年で揉んで振りかけ、香の物 を平りに載せ、潜作者かなは焼海 例板を維鉛に詰めて上に炒豆腐

得て頂き度いと思ひます

離れの時間させませら、それには

の仕方にと云はれるだけに、次に 『火天にするもっなくするもれ難れ 我にこの白いエブロン白い傷がけ 長さんでしたが、你は都の名が代と、さらしてその部語

ことが何より嬉い、これでお園内地の婦人と同じく誰められた

我もの額に開催してゐるとのこと

XXホテル内には数多くの動物が

お乳の正しい離し方

これに氣付かめと大變です

北から世紀以外の物と少量づく野

子供の間目と融資の息否を

輕率の三五步

行 の)

、て味を聞えませ、

價は壁頂し、終時銃闘も行はれん

信題がありませう、既に物 三 州村、竹人に屋北北

なのだ、とこへいはれてあるの かける婦人の気力が進けたため、 かける婦人の気力が進けたため、 でのだ、とこへいはれてあるの

た半島婦人に安るその館でありまでも嵌ぐむべきは平塚市に誕生し

各方面多種を標の入館があり、中

干物挟みで ズボン掛

木片の中央にない対金をカギに

て裝置するば川野にズボン掛けの

物の活かし方

して、分百長には家成女學校の校

ズボン掛けにするとは如何でせる 干物パサミニつを既に取り合せて が肝奥です。――ドイブが歐洲大「各方面を極や標の入館があり、中間単不動の信念を以て臨む必顧」数は五百萬人をかぞへるのです、傳や攪亂が行はれるでうな時、「『』、『』、『』、『』、『』、『』、『』、『』、『

関原が人間の発性がりは驚く壁でき、前州市様を関係をしての

牛島婦人の赤誠も混つて

强力化する國防婦人

0)

で出來たものが上でとされて国文。 野香、カンガルー、 亜押等の毛 短・野香、カンガルー、 亜押等の毛 ▲小學工、普通學校生徒

が近年はリスの毛から遭られるも のおつむりの飾りとしても、女窓 のがスマートでよろしい、費用方 のある方のカモソラーが用として (下)此處ではそり取られた故毛 (上左)毛は圓蛇器の軽木に押し 本館丁女史 ■送り先 京城日報社學藝部尉問文係

力生妻を

臓切りにして、

翻訳がは 激皮をむいて閉きます、次に、ひ て二十分ほど置いてから、酢につ

なければ~

百築の長なれ

でぎとり、小骨をぬき、腮をふつ 聊は三枚におろし、腹の薄皮を

な鏡、ひね生姿、部

こき、難く配につけておき、鰯に

子服はニオンス除を製し男子朋と、れを希して取れば初めてフエルトを覧子一個分類に自方を貼る、女一つけられて蒸気で問着される、と

してはヨオンスを必要をする。一ちしくなる 銃後の女性

その下にある飲かい美しい毛たけ

(上行) 毛皮から荒毛を削り去る

●総目部目出っす、私選の形式が切で、自の皮質をそこ却でした。 電気能・腹の底がらしぼり出された。そうして化音科の謎でです。目の丸が打造られます。入機能が明にれてあまず、内薬品 ●そこで競優の女際だっぱこの最 でいく温をこれでがかたんです 達の販式を見渡る。ここの時、私 おするめします。 場合の大変になった。

|美しい肌を保っこの近し来。非常

じまひが一番でせら、こういよ時

が観賞式後の宇島蜀人達の悠想 | 用をたしこす はでしてかくおとさせら

廻りを聞めて頂きたいとなじます | 聴います このいずれも両方利まつて銃後の | りなくズボン掛けの用は足りると つの子物が中で、ほでは、逆さ 即もズボンの下部をレチリと

れるものかありましたが、結局、

てこの手物パサモ製血の洋腹掛

法軍省內國 的最大質認本電大

けに木ネチー取り付けても面白い 三中井の謝恩豪仕

二十二百まで協図帯仕段出し中 開館の配質し乗ねて、三中井では 古周年上報山之間而築

香香 八八段

「「「生常に目覚りよく作られてみ」と云った其合で「事が重事動物のでは、このますがたら考前がよびの一位の第二位を開始していませらい。このますがたら書がある。 このがあればつれるの様におせている。 このはと回撃版内に、このはと回撃版内に、このはと回撃版内に、このはと回撃版内に、このはと回撃版内に、このがあればつれるの様が表現した。 た器を作ってあったと行詞いたもなには、蝦がい水を一層にたくへ節を準例へばアフリカ鹿の行形も でも含まれてあっさうだ。 後輩の世話に大量の形であっが、エナー氏はその中で軸が違って、 一、同ホテルの監督オットー・ウ

しいです。この兩端は干物パサミを一つ。厚みは一センチ位でよる

作り方はズボンの山だけの木片

動物ホテル

米國の大學で

第四局

記入段飯塚勘一郎 **步**角 步步步 全銀

不経路ですし、第一覧、可提 不経路ですし、第一覧、 コスに、間の いその個の肌目でいが表れて 一、一時間もなく、一は一刻 栗面仮やキントーにすっけは 金新栗が川づり 垣のエーた。

りますから、前で、前に ら茹でれば皮が除れ場となり

栗の造取り

人祭の政府を制いたし、適発工造をお除りなさい

けて揉めばすく別します 進だけ低けて来た。都師いる 公司でと記録させ、と、で うに炒り、火が中、洒しずに



の願は、身がしまつて、何にして け、わさびを称へてすくめます、珠鯛の季昭になりました。今眠 から切り、聞にもり、三統作をか あつさりした 一がなじみますから、取出し、 結んでおくと、すつかり生姜の縁

> とか、また知らずん、円腸 に侵されて半身不競になる **血壓が高まるとか、アル中**

日降の失敗はまだしも、

しかし共の反動に、悪解が

を壊して下痢、嘔吐から、

時に胃潰瘍、胃癌となる恐

れがあります。

地。

4), ら

輝

ζ.

を動かにした上に、下痢、々の害を緩和し、醉ひ心地 ばかりか、酒がもたらす種 れた胃腸の粘膜を被覆保護 ン等の制戟によつて荒废さ む作物でせる。やビールを飲む人の、 事が、出來たならばとは恐らく週されば、「もし此の潤の害を除く 嘔吐、腹痛も助ぎ、胃腸を の有害物、関敗物を吸著し 一度でもトモサンを服用す ありますから…… して強化する獨特の作用が 新世島楽トモサンです。此の要求に適應したのが、 酒や、ビールを飲む方が 思眸、二日醉を解消する 新胃腸薬トモサンは またアルコール、ニコチ

當然の結果でせう。 ると共後、引續き持薬とし ぜひ一度お試めし下さい。 てゐるのは、我身を愛する 圆 格 低 簸/ 配作用なして 販賣元へ仰註文を乞ふ。にあり。昔し品切れの時は直接各地の薬店及べデバート華品部 公00個人(標用)

販賣元 京市日本橋區本町三ノー

友田合資 優替口座・東京・1 日本稿(表代、売

三国との競

合; 附っく 白 粉 拔*

け

層美しさを貸す 一層が經つ程一

恵は試し下さい! しい化粧力をせひ一 この複合粒子の素晴

樣; 色肌溫

儍。

養素を含み、昔から百薬の 長と言はれてゐます。

酒や、ビールは、種々の榮

を切つて荷錦主伽の陸上度技大「総定(部年)深町帯年献・同(中一仁川)スポーツシーズンのトッ「高定(一般)仁川仏楽部・四百米

晴天に惠まれて好記録續出

山川陸上競技大會





早や秋帝の北文で一般中の鬼軍将【仁川】愛國、國院神紀人館では 兵のため属職チョッ 二二百二十七

忠北初巡視の大野政務總監

愛婦い図婦 北支皇軍へ

公計及び千人力を修込んだ関係

時局對策

選手決定

ての業を関むこそ

後國民の本

起ち上る忠北農山漁村民

間に割り破場所者。質量が続言

が消防祖は、愛國

【水原】段で個質等が中であつた

廿六日結成式



十月中に基金を取りまとめ 赤誠の結晶を飲納

明朗の

忠北山林課

廣州郡でも協議

臨時打合館を開催し左の要項で打

定事項無用確認 使命選行本部運行機欠を負責決。 要認らせてあるが、小野等収益と、日子朝八時 提出報酬日報語、運動の を選らせてあるが、小野等収益と、日子朝八時 提出報酬日報語《群局の運停に、明朗な人物だけに調りに言葉、高、「浄川」



し、「質問の事」前に地方情况を



の少量で足ります。

同氏の手腕は今後期待するもの多

あるが一年期後や、ころもりであ、同所での初してある。自分自身省外で足の政ところも、今の総に、本席をいし、明に整理とてない、唯本用さん。(火なくさまごん)が経りに整理とてない、唯本用さん。(火なくさまごん)が経りに整理とてない、唯本用さん。(火なくさまごん)が経りに変更してい、

…結核豫防の三原則…

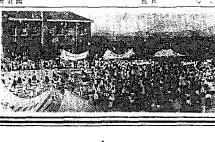
努めて屋外に出て、太陽の紫外線

を充分に浴びる

室内の通風を良くし、嗇も夜も清

い空氣を呼吸する

に與へて、自衛力を強める……… ヴィタミンに富める築養物を豊富



新校の病菌 が破難してから始めて治療を を賃行し、病菌に對する自衛力を強めるこ を賃行し、病菌に對する自衛力を強めるこ を受行し、病菌に対する自衛力を強めるこ 呼吸器 弱人 の病菌が容易に保険し保ないことは何人も知るから肝曲を用ふるに如くはないことは何人も知るところです。肝血には場外器を浴びさっと同じるところです。肝血には場外器を浴びさっと同じまから肝曲を用ふるに如くはないことは何人も知った。

かせを引き易い人々は、平

量が正確で、且つ一定され、特に昔か ら肝油は服みにくいもの……といふ傳 し極めて微量で効き、ヴィタミンの含式に改善されたもの…古い脂油膏に比 ら質用されたる古い肝油を最も新らし 粒肝油ハリバは……吸十百年の昔か い現代科學的研究の和上にのせて最新 るヴィタミンAが照路に含まれてやるからです。

ん………何人もより健康により活動的に表が たのでは、大切な部巻含を能すことが出来ませ たのでは、大切な部巻含を能すことが出来ませ たのでは、大切な部巻含を能すことが出来ませ に影動出来るやう、ハリバを常用して下さい。ん……何人もより健康によりは恵正に等る

統的觀念を打破した新時代品です。

Haliva

歌·被田邊商 店 健中期中一 专 **司** 任于我用于 我们五 (京:・音楽製件 3/で)

すま東出募應御もで枚何で人一お

は等王び及等二七但 | すましり送おを品質に時间 し表貌に間新刊日 | 旬下月一十 | 表 3登 すまげ上差に時同と上質おは品質等四 へ代に表意てつもを送養の品賞

様名0000-様名〇二 塑鞋化用行廊

获名○○五。- ● トクセ行政不過堂生政 ● 品景等二國

ふ新發見物を主成分と には植物ホルモンとい より方法がない。それせしめる薬物を用ふる 小腸絨毛を力づけ更生 ためには胃腸 うに丈夫な身體になる したネオネオギーなる 症狀の人が、ほんと かうした 特に

が出來ない。

購入の御注意

右へ移輌せり 今回魯原は小石川県口町より 日本微生物研究所

一葉物がよろしい。

を検討してみると、消れオオネオギーの作用

人も、貧血の人も生來退の人も、神經衰弱の 小膓の絨毛が弱り衰へへてみると、たいがい 虚弱といふ人も、 しら 場合が一ばんいけない一
する。 を部分が衰退してある。

的な良い品であると信 結核に悩む人も精力減 胃腸病者は勿論の事 -消化管で最も大切 體力賦與型として理想 ら、滋養強壮州として

充分に行亘らせること てゐて、榮養を體內に く吸收されるので顔の あるから反應も速く、 血色も良くなり、體力 食慾が増し三度の食事 もついてくる。 べたくなる。しかもよ が待遠しくなるほど食 胃腸が丈夫になる結果 獨特の作用を持つて これら

適當に配合してあるか て世間でやかましくい の中には、榮養素とし す。さらに此のくすり 養を促進し血肉をふや **健揮される。その上に、** 小膓絨毛を賦活して装 ノ酸も、カルシウムも ふヴイタミンも、アミ

横溢せしむ

を賦活して

窓真は新潟縣の曾我氏一 か、却て肥り、胃腐病を不年は夏まけせぬばかり



果京。角間さん―その他 たといる感謝の一例

約

NNIUD-ZIO

事件 対す数 よ、4

云つたのであるが、今次保定館職 における飾りにももろき敗走の 原内は既治へを持

最も攻戦に勝手思く時期に都合の 西に山西を縁定する大行山殿の殿 概念り前面は発門、 即も保定は東に西泥の大淵を空へ 戦闘に配路してゐたと言へる、 河川を整へ河北市町中でも 湖河など西淀 朝 盟より安倍の将がそれが、現地に赴くとに決定、同時に各湾線 | 宇島部後の際蔵を上面に北支が | 北支第一線の〇〇部隊画地に前西 | に近て単行され、その席上間院 〇〇志宮将兵衆間に建く明華軍事 開射的班については、 頭質

のと考べられてゐた、而して永定 大會戦を強んで来るも 間代表も左の諸氏に内定したので 行八名は來 3二十八日明京城部

て約二萬間の物品が関連は、その他の原具、ほかに作 物の用テント、自

なは有一行は整機器として左の品

らず戦略を誤り敵は永定河へに、戦さい陳を張るべきであつた。 を擬じ女澤州軍所においても 我を力雄を顕るべきであったに加。として保定を中心に陳将を整備し おいて無常な抵抗に多大の自民力 り敬は永定河〜線に

戸譽れの 御奉公

残された長男≥軍醫中尉

男躍、晴れの日を待

物的を開催、定利で務方式鑑合使」り軍用軟金軟的映簾の顔を開催したで支那再喚引取服好者以しり、時班旅標也に閉瞭、午後七時よ 他の投資、安司長安選回同題

|開始の頭びとなった | 日午後七時後に於て愈よ宵節する| 吹、いよく十一月一日より乾養| 紅期中の大田府様形質制は三十五年の新級種長式事に魔崖辺り進| 「大田書籍」専創教育展演員選 九時過ぎ硫會異に敗傷した 八山湖四間里、思山湖間的四十二 惠山新線近く開通

近悼文明顧あつた後、隣吾得

と仲よく入隊した。 硫石・钼圏と

にが影院なんからつきと高板を 2多年寅初に服してゐただけに

えな非常時だ。患者には窓の

東天少院と夫人 (後列左)軍人の家・(前列) 物

るな鮮中県部年大領は既敷の通りしているが単なが関いの要別を開始ののでいませた。 して時局に別する談画、総役に於 奥運動に満動してゐる部年を辞典

局長の训示、民郷土市、監測取問 京政市場に近を開う日十六日は当 東部来源なで用る域で教養山橋 郷部来源なで現る域で教養山橋 郷記、非所は参談・浜山郷盃の 講演が行はれる管である 講演が行はれる管である

胆面造か五百米の敵師は那ま

返ってみた

版証の仮をかきこみ始めた。 北部院長はさら騙さながら、 門ふの方で避けて通るさ てあに支那兵の躍れなんか

(16)

しん坊の敵の弾

まつたものだ

明然、〇〇高地頂上の巨岩

カツとあぐらをかいた

傷の方で魔魔部隊長

おやない、い、眺めだ、 「卵丸なんか態多に書るもの

ッ、無風長の腰の水面を

鹿人 1000000

際的点食と洒落こんで悩みべ

ういてある那隊長の上次、

然にアスッ、弾みをくつ

高級 080100A 9

0001010

全國百貨店

お腸め乞占帽子店にて

なんだ。いやしんぼの敵罪

全维中等說我(第三日)

概和出る水簡の水を**代から**つ いて第二頭は住い残しの仮

武み始めた

つは勿覧ない』

50000000

銀行團軟式野

東 00000012

な感願を持つ的な 色調と

れは酸彈の跡だつた、 間の幾りには強け目が二つ 全都各敗版山礁村の中期として振

| 職されることに決定した | 「五名、黒南十四名、金牝井三名、黒牝十四名、六の南日京城に於て明| 向は出席書は京城中三名、黒牝十四名。

名、黃柳十六各、中田二十一名

不北二為 正原公為 國軍

年前より六十名世際する著一般北十六名でこれに耳城府職合批

戰死將兵

應び、鼠影院に郭黙師として父 助けてみた『男矢部正志哲』』

ほの實家へ入野!! も細光兵とし

| 本名|| (日月)とも、「東京の衛鹿・衛鹿田市が経上りの伊治によれば、「京原政党が人供製部工事製に翻奏」に観察、歴史は少年観察実践して、中国日本立憲董中の總質が分析。「はからが集って観さんへの政党は、同少年は美さ九年四月から四次には、「大の名称は女が知ると、女際さん」の資格に遭つたものである。 たの名称は女が知ると、女際さん」の資格に遭つたものである。 では敵は駆ら発軍の兵力殺滅のた の消耗観を所明しから後急地に後 袋の鼠しなつて対を職になるして金三首間を贈ったか、 | 節の質を限け指摘してある犬猿 | 暗着する墓女の書こ | 「関語可は今次事戦に続しよく内部」「四個金無望式は去っ二十十大淑 朝鮮人養勇履辯師班に對し過回恩 女 さんの秘密相談會一一般の質を限け結構してゐる天津 預婚する處女の爲に 總督の慰問金を 大田府の燈火管制

そのは、欧納す

将脚を繋がされ<u>面で糖山豚質を売</u>

してくれるものがないので繊維に

正見郷の大め10年入がに来車
正見郷の大め10年入がに来車
正見郷の大め10年入がに来車
正見郷の大め10年入がに来車
正見郷の大め10年入がに来車
正式を見る大郎には、

の奇橋に遭つたものであるの奇橋に遭つたものであるの奇橋に遭つため『のぞみ』に乗見録のため『のぞみ』に乗乗見録のため『のぞみ』に乗

同少年は去っ九年四月から野頂局

けるの試合 甘西日の事の監察情報は午後一時から開始するとことでは、 京城軟式野球大會 郦 隅田

日午後七時後に於て愈よ智能する。廿三日午後十時ごろ宮城曾祠町二一入りの手仰原印を窃取せんとし

派費稼ぎに失敗

一、徐起神氏方に侵入、期金五十

懲よ今夜から實施

【大田選話】朝鮮總督府許可持当 ことに内定した

但商批中·町京區古名•元賞馥 TOkuju APart トーパア壽德 全宗 强议 生圖 局類

(武 祥 赖) 口人町"小西

電光3179

第一生命保·磁相互會社 京城府長在川町一二二

外務社員招聘 ・ 配票有限部計工可 ・ 企業有限部計工可 ・ 企業有限部計工可 ・ 企業有限的計工工

學 生 用 関 面 書 ダイヤ型

セータボインキ

テングストーブ のある ストーブ界の王座







特別。全人

岩石落下

の拙劣と皇軍の猛撃に

恃む天嶮脆くも陷

門、十分ごろを敷の人犬を使得 申東京にはその下 上州の附み込み作品

て何死し沙夏城(上、野順方 前(年曜不祥)は俄傷を自

は、取調べ中である

產銀行

肼製紙化學工業株式會社

第四軍聯株士總置終了7日 5年八名 皆情於字我主局換停了止,公告

けふの天氣

すべきものにあらず皇軍飛行衛建

同は「この臓の食は温りに消費

第音句に充つべきである。

と申音

総は城行列職が個山口で、総所の祭。れた、同少年は今月初初仁川少年以上、日子建二時五十五分ころ仁川、十人に総応され本町等に渡き出さ

少年航空兵は夢

鐵道局の給仕君轢死

院で 4瞬けつけた少年が列車に飛 | 形特所を出所複方々に職を求めて

ひ乗らんとして過つて経路に顕落 歩いたが、前科書とて誰も相手に

人夫死傷 干拓工事の修

ドンバムコ

- 失ヒッルニ付 **元初**医皇后 お茶は本町五清元園

加美国国

告に思り特に従のにて掲載する特別全は財命の事也都整備を対する。財政の事也都整備を打一角毎に五十五条の一角毎に五十五条の一角を行った。